

平成30年度事業報告

1. 平成30年度 法人本部 事業報告

(1) 法人本部運営

ア. 事業の概要

改正社会福祉法に基づき、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、業務執行の決定機関である理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を上程するとともに、法人全体に係る事務、財務及び職員の人事、労務管理を行った。

- ・理事会開催:6回(うち2回は決議の省略)
- ・評議員会開催:2回(うち1回は決議の省略)
- ・監事監査開催:2回(会計と業務監査)

イ. 重点目標

- ・職員が働きやすい風通しの良い職場環境の整備を行う。
- ・規程整備を行う。
- ・理事会の意思決定に基づき、法人全体や各事業の進捗管理を行う。
- ・業務管理体制の整備を行う。

ウ. 事業内容の実施状況

a. 職員の労務管理及び福利厚生

- ・ 職員のメンタルヘルスのためストレスチェックの実施により、職員のストレスへの気づきと職場環境の改善を図り離職率低下に取り組む。

(実施状況)

ストレスチェックは全職員対象で実施したが、実施方法に課題が見つかり一部アウトソーシングを行う。

- ・ ハラスメント関係の内部及び外部相談窓口を設置し相談しやすい体制を定着する。

(実施状況)

内部相談窓口への相談は3件、外部相談窓口に1件あった。

- ・ タイムカードを導入し適正な時間管理に努める。

(実施状況)

働き方改革の中で超過勤務の管理は最重要課題であり、タイムカードは未導入となっており、4月以降に他の施設を見学し至急対応する。

- ・ 離職率低下のため退職後1年程度経った元職員から退職理由を調査する。

(実施状況)

退職者アンケートを実施し第138回理事会で報告した。今後も退職後1年程度経った方にアンケートを実施していく。

退職者アンケートを実施し第138回理事会で報告した。今後も退職後1年程度経った方にアンケートを実施していく。

イ. 職員の人材確保と人事評価制度の確立

- ・ 安定した事業運営のため、計画的な職員採用活動を行う。具体的には就職フェアへの参加や学園の卒業生を活用したリクルート活動に力を入れると同時にリクルートサイトなどあらゆる媒体を通じて学園をアピールする。

(実施状況)

福祉系大学3校を含め県内・外の教育機関を訪問、県立大学就職説明会に採用担当職員とOB職員が参加。

(株)リクルートキャリアと契約しリクナビを導入したが、今までリクナビを通じての問い合わせは2件のみで更なる活用を図る。

- ・ 人事評価制度を見直し、キャリアアップを目指す風土を醸成する。

(実施状況)

人事考課規程を見直し、昇給・昇格・賞与に活用。人事制度見直しに向けた調査に関する理事会決議を得る。

ウ. 内部管理体制の整備(経営組織のガバナンスの強化)

- ・ 評議員会を6月に開催し、重要事項の議決及び法人運営の説明責任を果たす。

(実施状況)

定時評議員会を6月に開催したが、法人運営の説明責任を果たすため回数と間隔を検討する。

- ・ 理事会を年4回以上開催し、業務執行の意思決定及び理事の職務執行を監督する。

(実施状況)

理事会は6回(うち決議の省略2回)開催したが、重要事項の議決等のガバナンスの強化を考え2ヶ月に1回程度で開催し、理事・監事の意見を経営に活かすとともに、情報を共有し多角的に議論・分析を行っていく。また、利用者、保護者、職員はもちろん、行政や地域、関係機関の声を経営に活かすことが必要であり、昨年10月に新設した企画会議を通じて双方向で情報共有を図る。

- ・ 法人統治及び経営に必要な規程を見直し定着を推進する。

(実施状況)

社会福祉法人として必須の規程(全67規程)の整備を完了(新規制定13、一部改正10)。今後は規程の見直しと、他の規程との整合性を図る必要がある。

- ・ 事業計画/事業報告書式の見直しを行う(予算とのリンク)。各事業所の管理者は課題を明確化し計画を立て実績と比較分析し、必要に応じ実施方法の見直し等を行いリスク要因の改善に取り組む。

(実施状況)

中長期計画の制定(当学園ホームページにて公表)に伴い、事業計画についても人員とサービス提供の計画を盛り込み、ある程度予算とリンクしたものが前回の理事会で承認された。今後は計画と実施状況を定期的に企画会議等で比較分析し計画の進捗状況を管理する。

- ・ 社会福祉関係法令等の遵守を徹底し、信頼性の高い経営を行う。平成28年度に発生した不適切な人員配置による障害福祉サービス費の自主返納が再発しない様に請求システムの定着と遵守を行う。

(実施状況)

チェックリストに基づき請求を行うことになり、これまで過誤請求等は発生していないが引き続き自主返納とならない様に対応していく。また、法人本部の請求担当者等は最新の加算等の情報を得るため県の集団指導に参加する。

- ・ イントラネットを導入し職員に対して情報の共有や発信を促進する。環境整備としてパソコンの増設、タブレット端末等の導入を行う。

(実施状況)

イントラネットはハード・ソフトの提案を受け検討してきたが、4月以降に実験的に法人本部に導入し展開していく。また、今期は各事業所が予算としてパソコンの導入を計上し環境整備を行う。

エ. 事業運営の透明性の向上(広報活動及び情報公開)

- ・ ホームページの定期的更新等により利用者、地域への最新の情報提供を行うとともに、法人運営に係る財務諸表等の情報公開を行う。同時にリクルートに活用する。

(実施状況)

ホームページをリニューアルし、現況報告書及び財務諸表をPDF形式により公表し、事業運営の透明性に繋がった。また、就職希望の方からの問い合わせが2件あり1名採用となった。情報公開の内容については今後さらに充実させていきたい。

オ. 財務運営(財務規律の強化)

- ・ 施設修繕や将来の建替等を見据え、長期的な視点での法人財務を強化する。短期的には社会福祉充実計画の着実な実施を行う。

(実施状況)

毎月の月次決算と月次分析を行い財務規律の強化を今後とも行っていく。また、予算管理規程の制定により管理者へ分析資料等を還元しコスト意識の浸透を図っていく。

- ・ 各種手当の充実と処遇改善加算の支給方法の再検討を行う。

(実施状況)

資格手当の新設と増額、扶養手当の見直し、夜勤・宿直・早出手当の増額を実施した。処遇改善加算の支給方法について理事会に検討状況を報告。来期は処遇改善加算手当(案)を導入し支給方法の変更を検討する。

カ. リスクマネジメントの強化

- ・ 苦情、ご意見、ご要望の受付、第三者委員への報告等を通じて苦情解決体制を着実に運用し、苦情等の再発防止とサービス向上につなげる。

(実施状況) 4月以降17件受付(前年:16件)

第三者委員から件数が増えたことについて一定の評価をいただいた。苦情、意見、要望を受けたら報告すること、苦情は早期に対応すること等の基本を浸透させていきサービスの向上につなげる。

- ・ ヒヤリハット事例からPDCAを回し情報を共有化し事故防止へと繋げる。

(実施状況) 4月以降40件(前年:36件)

40件のうち約半分が誤業関係で再発を繰り返している。これをうけライフを中心に緊急に対策会議を実施した。会議以後は再発していないことから対策等の情報共有が再発防止になっているか検証していく。

- ・ 災害対策、防犯対策、食中毒予防等を着実に進める。

(実施状況)

昨年は豪雪で改めて防災・減災の大切さを痛感し、非常食と飲料水の備蓄を完了した。また、ライフ、コミュニティ、ワーク、2GHは土砂災害警戒区域に接しており、土石流対応マニュアルを制定し、避難経路等を掲示した。土砂災害防止法第8条の2に基づき坂井市に対し防災マニュアル等を提出した。また、霞の郷を一時避難所として利用できるように坂井市と協定を締結した。

- ・ 個人情報の保護をはじめとする情報管理の徹底を図る。

(実施状況)

SNSを使った動画の投稿、インスタグラムを使った画像の投稿等が社会的に問題となっており当学園でも職員が勤務状況等を書き込むことがあったため、職員への教

育、啓蒙活動の必要性を認識し、今後の課題として取り組む。

(2) 地域における公益的な取組

改正社会福祉法人法において社会福祉法人の責務となった「地域における公益的な取組」を組織横断的な体制で実施するため、既存の制度では対応できない地域課題やニーズを把握し、地域の他の法人や坂井市社会福祉協議会等と連携し対応していく。

具体的には丸岡高校での福祉セミナーを通じて高校生に知的障害者施設を含め社会福祉法人の仕事についてキャリア教育を実施。今後も障害者への理解を深めてもらう福祉教育等の活動を継続する。

(実施状況)

昨年は丸岡高校での「坂井市一日議会塾」への講師派遣、長畝小学校との共催による霞が城公園清掃活動、夏祭り、文化祭等を実施してきたが、地域における公益的な取り組みとして中長期計画でまとめられた具体策(例:子ども食堂への参加、古城マラソンへ参加等)を実施していくことが課題。

以上

第1号議案 平成30年度事業報告

平成30年度 法人本部 事業報告

月	日	記 事
4	1	奥出航介を職員として新規雇用する。
		嘱託職員笠原直美、田中俊次、吉田恭子、筒井昭博、小林正美、奥村聖名子、疋田智香子を職員に登用する。
	11	職員向けの就業規則説明会実施(トーマツ監査法人)。
	19	
5	22	平成29年度決算の監事監査(会計)を実施する。
	29	第133回理事会を開催する。
6	1	開園記念日。
	15	第41回評議員会を開催する。
	26	土石流対応避難訓練(ライフ、ワーク、コミュニティ、2グループホーム)。
7	6	新卒者採用のため㈱リクルートキャリアと契約。
	27	嘉門千代子様より200,000円の寄附を受ける。
8	23	夏祭り開催。
9	1	本多顕様より食器洗い乾燥機の寄贈を受ける。
	3	福井医療大学の出前講座開催(「楽しく美味しく食べ続けるために」)。
10	3	福井医療大学の出前講座開催(「分かって下さい発達障がい」)。
	5	第134回理事会を開催する。
	12	勝木ミチコ様より300,000円の寄附を受ける。
	21	物故者法要を開催する。
	26	こがね棟・たちばな棟トイレ・洗面所改修工事の指名競争入札実施。
	27	防災対策で福井東事業所の塀撤去工事実施(~11月16日)。
11	6	第135回理事会を開催する(決議の省略)。
	7~8	経営協の監事専門講座に伊東監事、中村監事が参加。
	8	丸岡高校の「坂井市一日議会塾」講師派遣(小林専務理事:地域貢献事業)。
	11	文化祭を開催する。
	15	こがね棟・たちばな棟トイレ・洗面所改修工事着工。
		霞ヶ城公園清掃(長畝小学校4年生、保護者、ボランティアが参加、地域貢献事業)。
	19	第1回企画会議
	21	熊澤喜八郎様より10,000円の寄附を受ける。
	22	福井医療大学の出前講座開催(「高齢者の身体の変化と介護」)。
のうねの郷づくり推進協議会より反射材付きタスキの寄贈を受ける。		

月	日	記 事
12	7	監事監査(業務監査)を実施する。
	17	第136回理事会を開催する。
	23	パナソニックデバイス労働組合様より菓子と電化製品の寄附を受ける。
1	8	第2回企画会議
	31	たちばな棟・こがね棟・たちばな棟トイレ・洗面所改修工事完成引渡。
2	15	福井県立大学の福祉・医療業界研究セミナー参加。
	28	第3回企画会議
3	8	坂井地区障がい者基幹相談支援センター事業業務の受託決定。
	19	第4回企画会議
	20	第137回理事会を開催する(決議の省略)。
	28	第138回理事会を開催する。
	29	第42回評議員会を開催する(決議の省略)。
緑幼稚園様より10,000円の寄附を受ける。		